

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ES11A003		授業の指導計画と教材研究の演習(Seminar in Development of Lesson Plans and Teaching Materials)					共通科目									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	1	大学院教育学研究科			氏名 竹中真希子, 立川 研一 E-mail tmakiko@oita-u.ac.jp ken-tatsukawa@oita-u.ac.jp 内線										
授業の概要	本授業においては、各教科等における適切な学習指導を構想する実践力を高めることを目的とし、「指導案を作成するための原理」「各教科等の教材研究の方法と教材開発を行うための実践的知識」「新しい学びに対応した教材を開発するための実践的知識」についての理解を深めるとともに、学校現場の事例を題材として現状の課題を発見し、その課題に対する具体的な対応策の立案・検討する。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1 各教科等における適切な学習指導を構想することができる						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 指導案を作成するための原理について深く理解する																
目標3 各教科等の教材研究の方法と教材開発を行うための実践的知識について深く理解する																
目標4 新しい学びに対応した教材を開発するための実践的知識について深く理解する																
目標5 学校現場の事例を題材として現状の課題を発見することができる																
目標6 現状の課題に対する具体的な対応策を立案・検討することができる																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 授業テーマに関する学校の具体的な課題の理解																
2 学習指導構想と指導案作成の原理																
3 学習指導構想と指導案作成の事例分析																
4 学習指導構想と指導案作成に関する実践的演習																
5 学習指導構想と指導案作成に関する討議																
6 フィールドワークもしくは事例検討																
7 教材研究方法と教材開発の原理																
8 教材研究方法と教材開発の事例分析																
9 教材研究方法と教材開発に関する実践的演習																
10 教材研究方法と教材開発に関する討議																
11 フィールドワークもしくは事例検討																
12 新しい学びに対応した教材開発の原理																
13 新しい学びに対応した教材開発の事例分析																
14 新しい学びに対応した教材開発に関する実践的演習と討議																
15 全体を通じた学習成果の発表と総括																
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	授業において設定する演習では、現職院生と学部卒院生とのペアワーク、グループワーク、討論など、アクティブラーニングの手法を取り入れ、現職院生・学部卒院生両者の学びあい・相互評価を基本とし、実務家・教員・研究者教員も参画したチームによる学習に取り組む。										工夫 その他				
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修 事後学修	次時の学習内容に関する予習および事前準備(資料収集、資料・文献精読など)(10~20h) 演習において討議したことを整理しまとめるとともに、まとめた事柄について、自己の視点と対照して、自己の学修到達点を明確にする。(10~20h)														
教科書	特になし。授業中に指示する。															
参考書	特になし。授業中に指示する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	複数教員による多面的・総合的評価(課題への取り組み、討論への参加など)	70%														
	最終レポート	30%														
注意事項	本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教えを請うこと。															
備考																
リンク	URL															